



学校だより

「育てる」ことは心も育つ

校長 横山 優美

1年生がアサガオを育て始めました。種まきをして3日後にはかわいい芽が出てきました。「朝には何にもなかったのに、休み時間にはもうこんなに育っている。」大喜びの1年生、大きな歓声が上がっています。他の学年もトマト、キュウリ、ナス、ゴーヤなどの野菜、ホウセンカ、ヒマワリなどの花を育てています。今、どの学年も栽培活動が盛んです。栽培活動は、植物を育てるだけではなく、「命」の大切さを感じたり、植物を愛したり、子供たちの心も育てます。

私が花を育てるのが好きになったのは、小学校1年生のときにアサガオを育てたのがきっかけです。自分一人で初めてじっくりと栽培し、観察したのがアサガオでした。半月型の黒い固い種を手のひらで数え、それを土にまくと数日後には土を持ち上げながらアーチ形の芽が出ました。続いて、くしゃくしゃとした柔らかそうな双葉がまるで蝶が羽化するようには開き、ちくちくとした毛の生えている本葉が出て、巻きひげを支柱に絡ませながら、どんどん大きくなっていきました。毎日、アサガオの生長を見るのが楽しみでした。やがて、ドリルのようなつぼみが開き、鮮やかな花が咲いた朝のことは忘れられません。アサガオの咲く瞬間が見たいと早起きしたこともあります。花が終わると緑色の実ができ、やがて茶色くなり、その中にできた黒い種は初めにまいたものと同じものでした。その時の観察カードに「アサガオが活着しているということは、お水を飲むこと、大きくなること、自分と同じ種を残すこと」と書いたことを今でも覚えています。子供ながらに、生長することと生命が繰り返されていることを理解できたのだと思います。

植物を栽培する体験は、人として大切な「育てる」ことを教えてくれるのではないかと思います。植物という相手の存在を認めること、自分の思い通りにならないものがあること、生長するには時間がかかること、育てるためには待つことや辛抱すること、そして、毎日の継続した働きかけが必要であることなど、「育てる」ために大切なことを栽培活動を通して学んでいくのではないかと思います。植物の世話をすることにより植物が育つ、実が実るといった喜びや達成感を味わい、生長に時間のかかる植物とのつきあいで辛抱強さを培い、自分が世話をし、面倒をみているという植物との関わりで責任感が養われ、花やできた野菜を喜んでくれる人がいることによって、やりがいを感じることができる。植物を育てる活動を通して、実は自分自身も育っている(育てられている)のではないのでしょうか。

熱心に土を耕し、肥料を入れて畑作りをしている子供たち、「今日は雨だから、水やりはしないほうがいいよね。」と聞きに来る子供たち、毎朝、生長の様子を報告してくれる子供たち、「ソラマメは収穫できるまで200日から270日かかるんだよ。」と今から楽しみにしている子供たち。植物たちと向き合い、大切に育てている子供たちの姿を見ながら、心も育っているんだなあとうれしくなりました。



<安全目標>

雨の日の過ごし方を工夫しよう

- ・校舎内での過ごし方
- ・雨の日の安全

小笠原は天候の変化が激しいです。その変化に敏感になりながら生活してほしいです。

雨の日は校舎内も滑りやすく転ぶ危険性も高くなります。階段や廊下は常に右側を歩く習慣を身に付けることが大切です。

放課後や休日における雨の日の過ごし方についても、改めて、ご家庭でも話し合ってくださいませようお願いします。

<生活目標>

話をしっかり聞いて、 落ち着いた学校生活を送ろう

- ・よい姿勢で話を聞く
- ・顔を見て話を聞く
- ・最後まで話を聞く

聞くことは、人を大切にすることにつながります。それは、聞く態度に表れます。

まずは、良い姿勢で聞きましょう。次に、相手の顔を見て聞きましょう。その時に、あいづちをうちながら、最後まで聞けるといいです。最後に、共感したり、共通点や相違点を見付けたりして話を聞いたら花丸です。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

交通安全教室（5月13日）

担当 登倉 里奈

交通安全教室では、自転車の点検、走行中に注意すること、一時停止を必ず行うことなどの自転車に乗る上でのルールについて話を聞きました。今年度は1・2年生のみの走行練習となりましたが、一人一人が学んだことをよく確かめながら自転車に乗ることができました。放課後等、日常生活の中で学んだことを生かし、交通安全に気を付けていくよう引き続き指導していきます。ご家庭でもお子様が出かける時、交通安全について一声掛けていただきますようお願いいたします。ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



ヤシの木教室紹介

担当 前田 圭祐

特別支援教室「ヤシの木教室」には、特性により学校生活において困難さのある児童が、週に数時間通ってきています。ヤシの木教室では、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、困難を改善・克服するため、個々に応じた指導を行っています。決まった教科書や教材はありません。児童の困難さやその要因と考えられる特性、「こうしたい」という願いを基に、その子が学びやすいような教材や教具を工夫して取り入れています。各学級、ご家庭と連携をしながら、児童がより楽しく充実した学校生活を送れるように、今後も指導に取り組んでいきます。

また、ヤシの木教室が、児童の安心できる時間や場所にもなり、児童の自信、学習や学校生活への意欲にもつなげていきたいと考えています。

ヤシの木教室へのご質問や、お子様の発達、学校生活での不安などのご相談等がありましたら、お気軽にお問い合わせいただければと思います。



ヤシの木学級紹介

担当 菊池 美香

特別支援学級「ヤシの木学級」では、児童の実態に合わせた独自のカリキュラムで指導を行っています。特別支援学級の学習では、将来の就労や自立した生活、生活の中での困り感の軽減を念頭におき、幅広い活動を行います。買い物や公共施設利用の学習などがその一例です。自分らしく生活していくために、自己決定や自己表現の定着が必要だと考えます。また、学年等との交流学习を充実させ、学んだことを実生活に生かせるようにすることも重要です。今年度のヤシの木学級では、このような部分に焦点をあてて指導を行っていきたいと思います。

最終的なゴールを見つめ、ご家庭や地域とも連携しながら、日々の児童の「できた」や笑顔を増やしていけるように尽力していきます。



インターネット環境に関するアンケート結果

担当 阿部 大樹

「小笠原には感染症が遅れてやってくる…」という話を耳にしたことがあるかもしれません。実際、インフルエンザ等の感染症の流行時期を内地と小笠原で比較すると、小笠原の方が毎年数か月遅れて流行しています。このことから、今後、新型コロナウイルスが小笠原で流行し再度臨時休業となることを想定し、現段階からオンライン学習に向けたインターネット整備が必要と考えています。

今回、オンライン学習の準備をすることを目的に、各家庭のインターネット環境の状況についてアンケートを実施いたしました。本校の結果を紹介いたします。

1 調査結果（回収率 90%）

ITを利用できる環境はあるか	はい				いいえ	
	100%				0%	
ITを利用している方は誰か (複数回答)	お父さん	お母さん	祖父母	お子様		
	77%	97%	5%	61%		
ITを何に利用しているか (複数回答)	Eメール	Webサイト 閲覧	ゲーム	テレビ (動画視聴)		
	95%	98%	68%	66%		
ITに接続できる機器は何か (複数回答)	スマートフォン	タブレット	ノート PC	デスクトップ PC	ゲーム機	テレビ
	97%	83%	72%	24%	51%	51%
PCまたはタブレットに付いている機能は何か (複数回答)	カメラ	マイク	スピーカー	有線 LAN	無線 LAN	Bluetooth
	84%	73%	77%	26%	86%	77%
お子様の IT スキルのレベルはどのくらいか	保護者が一緒じゃないと 利用できない		保護者がいなくても ある程度利用できる		保護者がいなくても 全く問題なく利用できる	
	20%		63%		18%	
お子様の IT 利用についてのご 家庭の方針は (複数回答)	メリットデメリットを 子供と話している	保護者が一緒にいれば 自由にしている	子供だけで利用する際は 時間制限をしている	子供だけで IT は利用させて いない	その他 (ルールを決めている等)	
	38%	24%	44%	27%	8%	
現在、オンライン学習を利用しているか	利用している	利用していない	導入を検討している	導入の予定はない		
	27%	59%	11%	3%		
臨時休校中、文部科学省の学習 コンテンツを利用したか	利用した			利用していない		
	20%			80%		

2 結果と考察

- (1) インターネットを利用できる環境は 100%であった。このことから、オンライン学習を行える環境であると考えられる。
- (2) インターネットに接続できる機器はスマートフォンが 97%と高い。そのため、オンライン学習をする場合は保護者がいる時間帯に限られる可能性が高い。
- (3) カメラ、マイク、スピーカーの機能は 70~80%台であり、テレビ電話のように会話をしながらのオンライン学習は難しく、一方通行のオンライン学習となる可能性が高い。
- (4) オンライン学習、学習コンテンツの利用状況が 20%であることから、新しいソフトを導入するよりは普段から活用している学校の HP や YouTube 等の既存のソフトを活用することが必要と考える。



本調査の結果を踏まえ、今後の情勢を見ながら、対応を検討していきます。

行事予定表（6月）

日	曜	船	朝	食	行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月		全校朝会(放送)	牛乳	心電図（1年）	5	5	5	6	6	6
2	火	入		牛乳	安全指導、ハンカチチェック、心電図（4年）	5	5	6	6	6	6
3	水		児童集会(放送)	ヤシのみ 牛乳	ヤシの木学級研究授業（ヤシの木学級以外4時間弁当なし）、 尿検査1次（低）	4	4	4	4	4	4
4	木			牛乳	尿検査1次（高）	5	5	6	6	6	6
5	金	出		牛乳	尿検査予備日、クラブ、SC	5	5	5	6	6	6
6	土										
7	日										
8	月	入	全校朝会(放送)	牛乳		5	5	5	6	6	6
9	火			牛乳		5	5	6	6	6	6
10	水		児童集会(放送)	ヨーグルト	芝生、避難訓練(引き渡し訓練)	5	5	5	5	5	5
11	木	出		牛乳	内科検診(1・3・4年)	5	5	6	6	6	6
12	金			牛乳	SC	5	5	6	6	6	6
13	土										
14	日	入									
15	月		全校朝会(放送)	牛乳	内科検診（2・5・6年）	5	5	5	6	6	6
16	火			牛乳	プール開き(予定)※学年ごと順次	5	5	6	6	6	6
17	水	出		飲ヨーグルト		5	5	5	5	5	5
18	木			牛乳		5	5	6	6	6	6
19	金			牛乳	4年クリーンセンター見学、SC	5	5	6	6	6	6
20	土	入									
21	日										
22	月		全校朝会(放送)	牛乳		5	5	5	6	6	6
23	火	出		牛乳		5	5	6	6	6	6
24	水			ヨーグルト	芝生	5	5	5	5	5	5
25	木			牛乳		5	5	6	6	6	6
26	金	入		牛乳	開校記念日、委員会、SC	5	5	5	5	6	6
27	土										
28	日										
29	月	出	全校朝会(放送)	牛乳	4年浄水場見学	5	5	5	6	6	6
30	火			牛乳	5・6年安全講習(シノーキング体験)(予定)	5	5	6	6	6	6
7/1	水		児童集会(放送)	ヨーグルト		5	5	5	5	5	5
2	木			牛乳		5	5	6	6	6	6
3	金	入		牛乳	SC	5	5	6	6	6	6
4	土										
5	日										
6	月	出	全校朝会(放送)	牛乳	安全指導	5	5	5	6	6	6
7	火			牛乳	歯科検診（高）、クラブ	5	5	5	6	6	6
8	水			牛乳	芝生、6年南島	5	5	5	5	5	5
9	木	入		飲ヨーグルト	避難訓練(セーフティ教室)、ハンカチチェック	5	5	6	6	6	6
10	金			牛乳	SC(1学期最終)	5	5	6	6	6	6
11	土										
12	日	出		なし	遠泳大会(予定)	2	2	2	2	2	2

※「行事」の欄のSC来校日は、スクールカウンセラーの来校日となります。

※「各学年」の欄の数字は、授業時数となります。通常と違う時程や年度当初から変更のあった場合は、赤字になっています。

※予定に変更があった場合は、学級通信等でお知らせします。

※1学期の図書ボランティアの活動は中止となりました。2学期以降の予定については、別途担当からご連絡させていただきます。

※4月下旬から予定されていた清瀬トンネルの工事が7月上旬に延期となりました。工事の終了時期も含めて、詳細が分かりましたら別途ご連絡させていただきます。

現在以下の行事について、延期・中止も含め、実施方法等について検討しています。詳細につきましては、決定しだいご連絡します。

【延期・中止が決定した学校行事（追加）】

7月・8月 学びの場・夏季水泳 ※中止

【延期・中止を含め、実施方法等について検討している学校行事】

10月 4日（日） 小中高連合運動会 ※小・中・高別に実施したり、種目を限定したりする等、実施方法を変更して実施する可能性があります。
 10月20日（火）～22日（木） 母島移動教室 ※内容を一部変更して実施する可能性があります。
 11月27日（金）・29日（日） 学芸会 ※発表や参観の形態を変えて実施する可能性があります。